

地域研究コンソーシアム 次世代ワークショップ 来たるべき「ブラジル研究」にむけて —政治経済の変化がもたらすもの—

パネリスト

近 田 亮 平	日本貿易振興機構アジア経済研究所
Andrea Lopes	サンパウロ大学（ブラジル）
舩 方 周 一 郎	上智大学大学院
中 牧 弘 允	国立民族学博物館
奥 田 若 菜	神田外語大学
高 橋 慶 介	一橋大学大学院

21世紀に新時代を迎えたといわれるブラジルは、政治的安定の下で持続的な経済発展を遂げつつある。こうした近年におけるブラジルの政治経済の変化は、国際政策、人種問題といった様々な領域での変化も引き起こしてきた。また、ブラジルに対する日本企業による関心の高まりや、ブラジル国内における学術、メディア情報の増大などを通して、政治経済の変化は、ブラジルと日本人研究者との関係のあり方にまで及んでいる。本企画では、現代のブラジルをめぐって研究活動を行ってきた若手研究者を中心として、政治経済の変化、その変化がもたらすもの、それを踏まえての日本における研究環境の変化について検討する。

プログラム

趣旨説明 [13:00-13:10]

—— 高橋慶介

第 一 部：基調講演 [13:10-14:00]

「近年のブラジルの変化—1980年代から現在まで」

—— 近田亮平

第 二 部：研究報告 [14:10-15:40]

1. 「気候変動が迫る相互連携？—ブラジルにおける多層ガバナンス分析の可能性」

—— 舩方周一郎

2. 「新時代のブラジルにおける宗教的不寛容とレイシズム—ネオペンテコステ派によるオリシャ批判から」

—— 高橋慶介

第 三 部：テーブルディスカッション [15:50-17:10]

「日本におけるブラジルをめぐる研究環境の変化」

—— 近田亮平、Andrea Lopes、舩方周一郎、奥田若菜、高橋慶介

総 評 [17:10-17:20]

—— 中牧弘允

日時：2011年1月22日(土) 13:00～17:20

会場：上智大学中央図書館8階L-821会議室 参加費：無料

主催 地域研究コンソーシアム／上智大学イベロアメリカ研究所

問い合わせ：keisuket1@hotmail.com(高橋慶介)